

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
特別の教科 道徳	116 日文 道徳725 あすを生きる	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で道徳的価値の一覧や写真を入れた学び方が配置され、生徒が見通しをもって学習に取り組める工夫がある。 ○ 教材の冒頭に主題名を示し、生徒が道徳的価値と関連付けて学ぶことができるようにしている。展開では「考えてみよう」で教材のねらいに迫るための発問の例を示し、終末「自分に+1」で、授業で学んだことを前向きに自分に生かすための発問の例を用意し、授業の流れが見通せる構成になっている。 ○ 「問題解決的な学習」「体験的な学習」に適した教材には「学習の進め方」が設けてある。タイトルの下には授業で何を議論するのか、どんな体験を通して考えるのかを示し、展開では、学習活動や体験場면을写真で示し活動内容をイメージしやすくしている。 ○ 発達段階への配慮とともに、カリキュラムマネジメントを取り入れるよう、他教科、学校行事など他の教育活動や日常生活体験を生かして授業の展開ができるような配列がしてある。また、複数の教材をユニット化することで多面的・多角的に学習できるように工夫してある。 ○ 教材の内容理解を助けるコラムや家庭や各教科各地域などに関連したコラムを掲載し、道徳の学びを広げ深める工夫がある。 ○ 教科書に対応した別冊の「道徳ノート」に、自らの考えをと友だちの意見や、新しく発見した道徳的価値を書くことを通して、多面的・多角的に考えられるようにしている。また、学習状況や道徳性に係る成長の様子が分かり、指導と評価に役立つ。

*発達段階を踏まえ、カリキュラムマネジメントを取り入れ、他の教育活動や日常生活での体験を生かして道徳科の授業展開をし、生徒が主体的に取り組めるような配慮がある。「いじめ」「安全」「情報モラル」「キャリア教育」などのテーマを適切な時期に扱えるような配慮もある。

- 例
- ・いじめ認知件数が多い1年生は1年間に3か所(1・2・3学期各1)ユニットを設定
 - ・職業体験の事前事後指導にかかわる時期に道徳授業として働くことの意義のユニット

*教材名の上に「主題名」を記載し、この教材、この時間で何を考えるのか生徒が見通しを持って学習できるようになっている。教材名の下には登場人物を紹介し内容把握を助けている。展開部分では教材文の後に「考えよう」としてねらいに迫る発問例、「自分に+1」として学んだことを自分に生かす発問例があり流れが把握しやすい。

*小学校で採択されているので、系統性があるかなと思う。道徳ノートの使い方にも慣れているのではないか。ノートには自作ワークシートを貼ることもできそうなので、評価に使えるそうです。ノートは教科書に収まる配慮があるのでもち運びにも○である。